

教育研究業績書

2018年11月08日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：大西 舞子

研究分野	研究内容のキーワード
母性看護学	母性看護、ハイリスク妊娠、アロマセラピー
学位	最終学歴
修士（看護学）	大阪府立大学院博士前期課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 専門看護師（母性看護）	2010年12月	
2. 助産師	2000年4月	
3. 看護師、保健師	1999年4月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 健康な成人女性における背部アロマセラピートリートメントの上肢末梢血流及び主観的疲労への影響	共	2008年3月	大阪府立大学大学院看護学研究科博士前期課程CNSコース, 修士学位論文	健康な成人女性におけるアロマセラピートリートメントの上肢末梢血流及び主観的疲労への影響を準実験研究で検討した。生理学的指標の変化から身体侵襲は少ないことが示唆され、心理面にポジティブな影響を及ぼす可能性が推察され、看護ケアの一方法として活用できる可能性が示唆された。
3 学術論文				
1. 健康な成人女性における背部アロマセラピートリートメントの上肢末梢血流及び主観的疲労への影響（査読付）	共	2010年7月	第41回日本看護学会学術総会－母性看護－（茨城）論文集 p. 36-39	

その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 心理社会的ハイリスク妊娠の現状と課題についての文献検討（抄録査読付）	共	2016年3月	第30回日本助産学会学術集会集録, 29(3), p479 (京都)	心理社会的リスクを抱える周産期の対象に関し本邦の研究動向を把握し示唆を得ることを目的とした文献レビューを学会発表
2. 組織に根付いた母性看護CNSの役割獲得を目指して～クリニックでスタッフナースとして活動するCNS～（抄録査読付）	単	2014年6月	第16回日本母性看護学会学術集会抄録集, p80 (京都)	母性看護CNS活動の実際について、組織分析に基づき立ち上げたハイリスクケアチームの活動、役割獲得にあたり必要な能力について学会発表。
3. 周産期ハイリスク事例継続ケアシステム構築のための活動（抄録査読付）	共	2013年7月	第49回日本周産期・新生児医学会学術集会（パシフィコ横浜）	母性看護CNSとして周産期ハイリスク事例継続支援ケアシステムを構築し、外来、MFICU、NICU、地域間の情報共有と円滑な連携を図った経緯についてまとめ報告。
4. 赤十字病院における専門看護師の	共	2012年10月	第48回 日本赤十字社	赤十字の施設等における高度看護実践とケアの質の

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
活動 活動の現状と成果に焦点をあてて(抄録査読付)			医学会総会 (サンポートホール高松) 日赤医学64巻1号p222	維持向上及びその発展に寄与することを目的とし発足した日本赤十字専門看護師会の活動で、16病院28名の赤十字病院における専門看護師の活動について、組織での位置づけや活動の現状とその成果に焦点をあてて発表。
5. 赤十字病院における専門看護師の活動 活動の変遷に焦点を当てて(抄録査読付)	共	2012年10月	日赤医学64巻1号 p 222	
6. 赤十字病院における専門看護師の活動 病院間での専門看護師活用の実態(抄録査読付)	共	2012年10月	日赤医学64巻1号 p 223	
3. 総説				
1. 緊急対応が必要な胎児心拍数モニタリング波形	単	2015年4月	救急看護トリアージのスキル強化 4巻6号 P91-98	救急部で勤務する看護師を対象として、産科と新生児科と連携した緊急対応が必要な胎児心拍数モニタリング波形について、エキスパートの視点を中心に解説を執筆。
2. 【異常分娩を見極め対応できる助産技術】 肩甲難産となった経産婦	単	2014年5月	臨床助産ケア: スキルの強化 6巻3号 P77-84	異常分娩の見極めと、その異常に対応できる助産技術として、事例を用いて肩甲難産時の対応についてまとめ、肩甲難産時の娩出法についての解説を執筆。
3. 早産・流産を経験した対象へのケア	共	2012年11月	妊産婦と赤ちゃんケア 4巻6号 P36-42	ハイリスク妊産婦へのケアとサポート特集の中で、早産・流産を経験した対象へのケアにおいて、理論を活用したケア、臨床スタッフが心がけていること、声掛けの実際を紹介した。またベビーマッサージ・アロマセラピーを活用したケアの実際をまとめて執筆。
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2015年4月～現在	大阪府立大学大学院看護学研究科 看護学専攻(修士課程) 非常勤講師
2. 2014年4月～現在	富山大学大学院 医学薬学教育部 看護学専攻(修士課程) 非常勤講師
3. 2014年4月～現在	大阪医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻(修士課程) 非常勤講師
4. 2013年4月～現在	医療法人青葉会 神野レディスクリニック本院 助産師・母性看護専門看護師 非常勤勤務
5. 2013年4月～現在	京都第一赤十字看護専門学校 非常勤講師
6. 2012年4月～現在	日本赤十字豊田看護大学大学院 看護学研究科 看護学専攻(修士課程) 非常勤講師